

平成25年第1回定例会 総括質疑・一般質問

池 之 上 誠 議 員	-----	P. 1
堀 内 貴 志 議 員	-----	2
北 方 貞 明 議 員	-----	3
川 畑 三 郎 議 員	-----	4
田 平 輝 也 議 員	-----	5
川 越 信 男 議 員	-----	6
感 王 寺 耕 造 議 員	-----	7 ~ 8
池 山 節 夫 議 員	-----	9
森 正 勝 議 員	-----	10
持 留 良 一 議 員	-----	11 ~ 14
篠 原 静 則 議 員	-----	15
大 園 藤 幸 議 員	-----	16

池 之 上 誠 議 員

一問一答方式

施政方針と予算について

市 長
教 育 長
関 係 課 長

1 第2の柱である6次産業化と観光振興

- (1) スポーツ合宿と教育旅行
- (2) 漁家・農家民泊
- (3) 養殖業者への支援
- (4) しおかぜ街道

水産課と商工観光課が統合再編されるに当たり、本市の基幹産業である水産業（養殖業）について、市の取組姿勢及び内容を伺う。

また、観光振興と交流人口の拡大について、県観光プロデューサー奈良迫英光氏のコラムを参考に、市の取組姿勢及び内容を伺う。

2 政策調整枠、元気な垂水づくり事業

市 長
関 係 課 長

- (1) 住宅用太陽光発電設置補助金
- (2) メガソーラー事業

本市の自然エネルギー事業への取組姿勢及び内容並びに高峠メガソーラーとの関連、事業進捗状況並びに課題等を伺う。

堀内 貴志 議員

一問一答方式

1 錦江湾トンネルの可能性と実現に向けた動向について

市 長
関係 課 長

(1) 錦江湾トンネルの可能性について

(2) 垂水市として実現に向けての今後の動向について

2 6次産業化について、どのように取り組むか。

市 長
関係 課 長

(1) 課長の6次産業化に対する考え方について

(2) 市長は、「6次産業化のための新たな加工場の拡大を実現・・・」とあるが、具体的にはどこのどのような取組か。

(3) 生産者への機会創出や企業の農業参入への支援対策を今後どのように取り組むか。

3 子育て支援対策について

市 長
関係 課 長

4 教育関係について

市 長
教育 長

(1) 垂水高校支援対策について

関係 課 長

(2) 小学校の共同学習の導入について

北 方 貞 明 議 員

一問一答方式

1 施政方針について

市 長

3つの重点施策

関 係 課 長

(1) 安心安全な垂水のまちづくり

(2) 6次産業化及び観光振興

(3) 子育て支援及び高齢者対策

2 安心安全について

市 長

関 係 課 長

(1) 通学路、市道の危険箇所の対策

(2) 城山団地の水道老朽管及び漏水対策

(3) 買い物弱者について

3 観光、水産業について

市 長

関 係 課 長

(1) 高峠公園の観光地としての考え方

(2) 垂水港サイクルステーションの現状と今後について

(3) トップセールスの海外販路の責任は、どこまでか。

4 市長等の給与カットについて

市 長

(1) 公約での給与カットは、何%か。

川 畑 三 郎 議 員

一 括 方 式

1 農 業 振 興 について

市 長
関 係 課 長

(1) 新 規 事 業 及 び 主 な 事 業 は

(2) 耕 作 放 棄 地 対 策 は

2 水 産 行 政 について

市 長
関 係 課 長

(1) 水 産 業 振 興 は

3 教 育 行 政 について

教 育 長
関 係 課 長

(1) 新 規 事 業 及 び 主 な 事 業 は

(2) 小 学 校 通 学 路 について

4 市 道、農 道 及 び 河 川 の 整 備 について

市 長
関 係 課 長

5 降 灰 対 策 について

市 長
関 係 課 長

(1) 昨 年 と 今 年 の 降 灰 量 の 比 較 と そ の 対 策 について

田 平 輝 也 議 員

一問一答方式

1 本市職員給与の現状は

市 長
関 係 課 長

(1) 本市のラスパイレス指数の推移と現状は

(2) 職員定員適正化の推移は

(3) 24年度末の退職者の人員数は

2 本市の雇用対策は

市 長
関 係 課 長

(1) 本市の雇用促進と今後の対策、計画は

3 空き家対策について

市 長
関 係 課 長

(1) 本市の空き家の現状は

川 越 信 男 議 員

一問一答方式

1 公共事業について

市 長
教 育 長
関 係 課 長

(1) 公共事業予算について

ア 平成25年度公共事業予算の比較は

イ 市長調整枠での事業状況は

(2) 国の補正予算に伴う本市の取組及び関係課の対象事業は併せて、影響及び効果は

(3) 前倒し事業を含め、今後の展開は

(4) 公共事業の確保について

2 垂水新港の緑地帯について

市 長
教 育 長
関 係 課 長

(1) 所有者と管理者について

(2) 利用者からの要望は

(3) 共生協働の観点からの管理方法について

1 施政方針及び予算について

市 長
関 係 課 長

(1) 水産業の振興について

ア トップセールスが漁家の収入増に結びついているのか。

イ カンパチ、ブリの浜値と採算ラインは

ウ 生産調整が必要な事態では

エ 短期貸付金のこげつきのおそれと回収策は

オ 商工観光課との統合について

(2) 農業振興について

ア 市単独事業の拡充は

イ 新規就農者の支援対策は

(3) 農道整備について

ア 重機借上料、工事請負費及び原材料費について

(4) 生活保護費の削減について

ア 就学援助への影響は

イ 個人住民税の非課税限度額の算定への影響は

ウ 保育料や医療、介護保険料への影響は

2 地域振興計画について

市長
関係課長

(1) ハード事業に対する予算措置は

3 TPP問題について

市長
関係課長

(1) 市長の見解と対応は

4 南萩ヶ峯の林地開発について

市長
関係課長

(1) その後の対策の進捗状況について、末端排水が整備されておらず、市道への表面排水、それに伴う土地改良区水利側溝への土砂の流入が危惧されるが、根本対策は

池 山 節 夫 議 員

一 括 方 式

施政方針と予算案について

- | | | |
|-----|------------------------|----------------|
| 1 | 人口減少対策事業について | 市 長
関 係 課 長 |
| 2 | 住宅用太陽光発電設置事業補助金について | 市 長
関 係 課 長 |
| 3 | 暮らし安心、地域支え合い推進事業について | 市 長
関 係 課 長 |
| 4 | 新国民病「ロコモ」について | 市 長
関 係 課 長 |
| 5 | 市庁舎のあり方と「公共施設の集約化」について | 市 長
関 係 課 長 |
| 6 | 観光について | 市 長
関 係 課 長 |
| (1) | 「九州オルレ」について | |

森 正 勝 議 員

一問一答方式

1 桜島噴火について

市 長

関 係 課 長

(1) 昨年12月に行われた防災シンポジウムで京都大学の井口教授は、2020年～2030年代に大正噴火クラスの爆発が起きる可能性を示されました。当然、対策は考えておられると思いますが、現状の到達と課題について、お聞きします。

2 道の駅たるみずの温泉ボイラー等の改修事業について

市 長

関 係 課 長

(1) 目的と事業内容について、説明をお願いします。

3 地域包括ケア体制整備事業について

市 長

関 係 課 長

(1) 事業内容について、説明をお願いします。

施政方針と重点施策及び一般会計予算案について

1 政治姿勢について

市 長
関 係 課 長

(1) 生活保護基準の大幅削減を打ち出した問題

ア 国に対して削減を行わないように求めること。

イ 削減を強行した場合、市として市民生活に悪影響が生じないように措置を取ること。

(2) 2012年度の国の補正予算案に対する考え方について

ア 住民の暮らしに役立つ事業こそ優先すべきであるが、考えは

イ 活用する場合の市財政への影響は

2 3つの重点施策について

市 長
教 育 長
関 係 課 長

(1) 安心・安全な垂水のまちづくり

ア 通学路とスクールバスの安全対策は問題ないか。

(ア) 通学路の点検後の現状と対策及び課題
(計画の進捗と課題)

(イ) スクールバスの発着場の安全対策は問題ないか。(待合所や屋根等の検討)

(2) 6次産業化と観光対策

農業 ア 「人・農のプラン」の課題と方向性について

(ア) 地域の農業と集落の持続可能性を保障していく政策になるのか。
(「人・農のプラン」を離農対策とは反対に、小さい農家や高齢者などの多様な担い手を活かし、新規就農者も活躍できるプランを地域から築いていく可能性について)

漁業 ア 経営の再生と安定的経営づくりのために、産地価格形成の場とルールづくりは可能か。

イ 行政の果たすべき役割について

観光 ア 中央地区の考え方について

(ア) 観光まちおこし、まちづくり、まち磨き及びまち育て(市民・業界・行政が一体となった取組)の視点に立っての取組はできているか。

(3) 子育て支援・高齢者対策

ア 病児病後児保育事業(仕事と子育ての両立する仕組みづくり問題)

(ア) 利用意向で最も求められている施策であり、施策の方向(次世代育成支援行動計画-後期計画)は、平成26年度までに一箇所、実現が必要だが、方向性は

イ 地域包括ケア(高齢者対策とは何か。)

(ア) 問題点の認識と方向について（特に「地域包括ケア難民」を作り出さないために）

3 一般会計予算案に関係して

市長
教育長
関係課長

(1) 太陽光発電設置と経費削減対策（再生可能エネルギー推進）

ア 空調施設の電力経費と学校全体の電力経費

イ 学校関係施設への太陽光発電（パネル）の計画の推進と庁舎内での推進体制の確立を

(2) 障害者福祉問題

ア 地域生活支援事業の充実と課題について

(ア) 4月から実施される内容と取組

(イ) コミュニケーション支援事業（必須事業）の課題と方向

(3) 『体罰』、暴力問題について

ア 考え方（見解）と取組について

国保会計について

4 公的責任について（一般会計からの法定外繰入れ）

市長
関係課長

(1) 県下の自治体の繰入れの状況

- (2) 公的責任は、どうあるべきか。
(市民の健康の支え、皆保険体制を下支えする国保の役割を考えれば、本来国が中心となって担うべき公的責任の一端は自治体が担うしかないのも事実である。決して加入者の自己責任や助け合いで対応できるものではないと考える。)

篠原 静則 議員

一括方式

1 人口3万人への取組について

市長
関係課長

大 藪 藤 幸 議 員

一問一答方式

- | | | |
|---|--------------------------|-----------------|
| 1 | 公共施設のマネジメントについて | 市 長
関係 課 長 |
| 2 | 農道の維持管理改修について | 市 長
関係 課 長 |
| 3 | 市民館内の調理室の活用及び利用について | 教 育 長
関係 課 長 |
| 4 | 高齢者の国道横断用反射材付きベストの活用について | 市 長
関係 課 長 |

